

2015年、EXILEのパフォーマーを卒業した EXILE ÜSA。同じ年に EXILE TETSUYA、Dream Shizukaを「DANCE EARTH PARTY」の正式メンバーに迎え、EXILEという名は残したまま、新たな活動をスタートさせている。「僕は、今は EXILEのパフォーマーとしては卒業したのですが、EXILEはボカール&ダンスグループとして存在するだけではない。そのことを僕らが作り上げて行こうとしているんです。それはひとりひとりがプロデューサーの役割を果たしているようにすること。パフォーマーという言葉がない時代に僕らがその言葉を確立したように、10年後には僕らがやろうとしていることが EXILEの新しい形になっているように頑張っていきたい」。

そんな意気込みを表して「DANCE EARTH PARTY」ではハッピーなダンスと音楽の世界を展開。楽曲が NHK「みんなのうた」に採用されるなど、活動と表現の幅も広がってきた。2015年11月にリリースされた「DREAMERS PARADISE」に続く、次なるシングルのテーマは「ネオ・ジパンク」。「日本からトータルでネオな感じの新しい文化を発

信したい。日本がテーマだけど、聴いた人には「新しい島を発見したぞ」という気持ちになってもらえるような。これまで様々な日本の祭りに参加してきた中で吸収したこと、気に入った音をサンプリングして、新しいけど懐かしい、世界のダンスミュージックシーンにも通用するような作品にしたい」。日本全国の祭りに参加するプロジェクト「DANCE EARTH JAPAN」を通して日本の踊りと音楽への興味を強くする中、一つの挑戦となったのが、4月に清水寺の舞台で奉納したソロパフォーマンス「PRAY」(p8参照)。「和太鼓、横笛という日本の伝統音楽と共演することは新しい体験。踊ってみて、日本の芸能は音と音の間のようなものをとても大事にしていることに気づきました。いつも自分の身体に飛んでくるビートを全部、ダンスで埋めたくなくなっちゃうんですけど、あえてそこを全部埋めない、という感覚。余白を大切に、そして静と動のバランスが、日本のあらゆる芸術に見られる良さなかも。それをもっと踊りで意識したい」。これまで、ライフワークの「DANCE EARTH」で、世界のダンスを訪ね、踊り、それをパフォーマンスや舞台、出版など

様々なメディアで発表して来た。次に構想するのは「太陽の下で、みんなで踊って一つになるダンスアースフェスティバル」。そのコンセプトには、ダンスは楽しいだけでなく生きていく上での大切なエネルギー、人をつなげる重要なファクターだという思いがある。「これは僕の考えなんですけど、大昔はきちと、踊りは衣食住と同じくらいに大切にされてきたと思うんです。それが、世の中が発展していくにつれて薄れてきた。でも、みんなで騒いで踊って、コミュニケーションを生み出すことって、誰にでも、いつの世の中でも必要なことだと思うんです。踊るって、心と身体を解放すること。その状態で人と人がつながるってことが、現代の社会でこそ、必要なんじゃないかな」。世界のダンスを身体で受け止めてきた EXILE ÜSAの旅は今も道なかば。まだまだ行きたい場所があり、表現したい踊りがある。「世界のダンスというテーマを追求してきて、一人の踊る男としての究極の夢は、自分が死んだ時に「あの人は地球上でいちばん踊りを楽しんだよね」って言われること。常にその夢は心に持ちながら、です」。

## Special Interview 1

# EXILE ÜSA

世界の踊りを求めて、さらなる旅は続く。  
EXILE ÜSAの「DANCE EARTH」の新展開。



● **Profile** 神奈川県出身。EXILEのパフォーマーとしての活動の傍ら、自身のライフワークであるプロジェクト「DANCE EARTH」で、世界と日本を旅して、様々なダンスを体験し、それを映像や舞台作品、出版で発信。2015年、ユニット「DANCE EARTH PARTY」を結成。NHK EテレビEXILE TETSUYAと「Eダンスアカデミー」に出演中。

メイク:白銀一太(H.M.C)

## Radio

# MAKOTO×和紗 京おんなの歌づくり

Q-STATIONのラジオ番組「Sweet'n marble lovers」パーソナリティーのMAKOTOとレギュラゲストの和紗。今回のトークではグランマーブル20周年にちなんで「20歳の頃」をプレイバック!



## 和紗

**Profile** シンガーソングライター。2009年メジャーデビューし、ドラマ「逃亡弁護士」の主題歌などを手がける。2014年夏から拠点京都に戻す。好きなマーブルデニッシュはメイブルキャラメル。

## MAKOTO

**Profile** 「真琴」の名前で祇園町の舞妓・芸妓として活動する傍ら、ジャズシンガーとしてメジャーデビュー。現在はパーソナリティーとして活躍。好きなマーブルデニッシュは、ファクトリー限定の「blanc(ブラン)」。

Sweet'n marble lovers

Q-STATION  
FM KYOTO 89.4

Q-STATION FM KYOTO(89.4MHz)  
●毎週日曜日 19:00~19:30 DJ: MAKOTO

**MAKOTO(以下M)**: 今年はグランマーブルさんが20回目のお誕生年ということで、おめでとうなんです。我々も「20歳」をテーマにお話ししましょう。和紗さんは…つい、この前ですよね(笑)。  
**和紗(以下和)**: 20歳は、デビューして東京に拠点を移した年で、初めてのことばかり。まわりの大人についてゆくに必死でした。

**M**: 私も「大きい(年長の)舞妓さん」として、後輩のお世話もせなあかんし、忙しかったですね。お互い、キャピキャピの青春を知らない20歳だったかも(笑)。

**和**: 当時、よく聴いていた曲はありますか? 私は宇多田ヒカルさんの曲を聴くと、初心に戻れる気持ちになりました。

**M**: ソウル歌手のチャカ・カーン(笑)。20歳でジャズを歌い始めていたので、あの思いっきり歌うスタイルに影響されました。京舞のお稽古の傍ら、ヒップホップダンスも踊ってましたよ。

**和**: うわー(笑)。エネルギーに活動されていたその当時から、現在まで、MAKOTOさんにどんな変化がありましたか?

**M**: いろいろな経験をしたらけれど、それが感謝に変わって、いろいろなことを「手放して」素の自分になれたかな。和紗さんはどうですか?

**和**: 京都に拠点を移してから、この街が自分に合っていることがよくわかったんです。実は竹久夢二の世界が好きで、和服姿で海外へ歌を発信するようなことにも挑戦していきたいです。

**M**: 楽しみ! 二度目の20歳も(笑)楽しんでおくれやす!

# 日本人初。中野公揮がフランスのレーベル「NO FØRMAT!」から、アルバムをリリース

パリを拠点に活躍する日本人ピアニスト&作曲家の中野公揮が、cuttingエッジで都会的なラインアップで知られるフランスのレーベル「NO FØRMAT!」から、初アルバムをリリース。全楽曲中野のオリジナルで、ヴァンサン・セガールのチェロとのデュオ。「楽譜を見て、西洋のクラシックやポップスと、パーソナルな表現の融合を感じた。それは現代の日本の文化にも通じるものだね」とヴァンサン。「僕たち現代

の音楽家の特権は300年前のラモーン現代のエレクトロもフラットに見て作品に取り入れられること」と中野。クラシックからポップスまでのディテールを知的に構築したエレガントなアルバムとなった。

中野公揮 (with ヴァンサン・セガール)「リフト」  
日本版はp-vine より6月15日発売  
(JAN 4995879252000)  
フランスでは9月発売予定 PCD25200



# NEXT BREAK Profile Vol.9 杉山麻衣さんが、いまイチオシの俳優をプロフィール。新しい才能をいち早くキャッチ!



**Profile** 1980年愛知県生まれ。2002年からタレント活動開始。「レ・ミゼラブル」、「ミス・サイゴン」など、ミュージカル界屈指の歌姫として活躍。7月7日ミュージカルコンサート「I LOVE MUSICALS」(日本武道館)、8月5日~27日ミュージカル「王家の紋章」(帝国劇場)、10月1日~11月25日全国7か所コンサートツアー。

## 新妻聖子

2003年「レ・ミゼラブル」のエポニーヌに抜擢されて以来、次々にミュージカルの大舞台に立ち、現在は、ドラマやバラエティでも活躍する新妻聖子。「オーディションで大きな役に抜擢されたことがミュージカルを始めたキッカケですが、そのことは今でも奇跡だと思います」と振り返る。身長156cmと小柄ながら、観客の心を掴んで離さないのは、強い情熱から生まれる歌声。「歌手は幼少の頃から一貫してぶれていない夢。それを死ぬまで追い続け、全うしたい」。ソロコンサートではよりパーソナルに歌の世界を伝える。「ステージに向かう情熱は舞台と変わらないのですが、自分のコンサートのお客様は私の歌を聴くために来てくださった方ばかりなんだと思うと…なんかもう、愛おしいです」。



マーブルフィルム  
キャストイングディレクター  
杉山麻衣のコメント

新妻さんは、知れば知る程、お仕事のフィルター抜きで大好きになってしまい、今やただのファンだということをカミングアウトします(笑)。今春のソロコンサートでは、漫画のようなお話ですが、その場に無いものまで見えてきて、感情を揺さぶられ、歌でこんなにも色々なことを表現できるのかと感動して、何度も泣いてしまいました。この表現力を映画でも発揮していただきたいです! ミュージカル映画はもちろん、人間の業などを体当たりで演じる姿を見てみたいですね。

**Profile** 愛知県出身。主に映画や舞台のキャストイングを担当。企画・プロデューサーを務めた映画「ライチ☆光クラブ」のDVDが8月3日(水)に発売。マーブルフィルム公式HP <http://marblefilm.jp>